

新村聡 教授 略歴・研究業績

フリガナ ニイムラ サトシ
氏 名 新村 聡
生年月日 1953年1月3日
本 籍 神奈川県

学 歴

1971年3月 麻布高等学校卒業
1971年4月 東京大学理科 I 類入学
1975年3月 東京大学経済学部卒業
1975年4月 東京大学大学院経済学研究科修士課程入学
1977年3月 同 修了
1977年4月 東京大学大学院経済学研究科博士課程進学
1982年3月 同 単位取得退学
1996年7月 東京大学大学院経済学研究科博士（経済学）学位取得

職 歴

1983年10月 岡山大学経済学部助手
1984年4月 同 講師
1986年4月 同 助教授
1993年4月 同 教授
2006年4月 岡山大学大学院社会文化科学研究科教授（2018年3月まで）

I 単著

1. 『経済学の成立－アダム・スミスと近代自然法学－』, 岡山大学経済学研究叢書, 1994年3月, 御茶の水書房, 1994年10月。

II 編著・共著

1. 早坂忠編『古典派経済学研究（Ⅲ）』雄松堂出版, 1986年2月, 「スミス価値論の成立過程－『法学講義』から『国富論』へ－」を分担執筆。
2. 斎藤繁雄・田中敏弘・杖下隆英編『デイヴィッド・ヒューム研究』御茶の水書房, 1987年3月, 「第3章 ヒューム正義論の二元的構造」を分担執筆。
3. 米田康彦・新村聡・出雲雅志・深貝保則・有江大介・土井日出夫『労働価値論とは何であったのか－古典派とマルクス－』創風社, 1988年4月, 「第1章 古典派労働価値論の成立」(pp. 9-44)を分担執筆。
4. 田中正司編著『スコットランド啓蒙思想研究』北樹出版, 1988年6月, 「第7章 スミス経済学の成立過程」を分担執筆。
5. 早坂忠編著『経済学史』ミネルヴァ書房, 1989年1月, 「第2章 イギリス古典派経済学」を分担執筆。

6. 経済学史学会編『経済学史 課題と展望』九州大学出版会, 1992年11月, 「アダム・スミス研究の現代的課題」を分担執筆。
7. 平井俊顕・深貝保則編著『市場社会の検証』ミネルヴァ書房, 1993年7月, 「第1章 アダム・スミスにおける自由と統治」を分担執筆。
8. Sugihara, Shiro and Tanaka, Toshihiro (eds.), *Economic Thought and Modernization in Japan*, Edward Elgar Pub., 1998, "Modernization and Studies of Adam Smith in Japan during and after World War II: Kazuo Okouchi, Zenya Takashima and Yoshihiko Uchida" (pp. 117-130).
9. 中村達也・八木紀一郎・新村聡・井上義朗『経済学の歴史－市場経済を読み解く』有斐閣, 2001年11月, 「第1章 市場経済の発展と古典派経済学」(pp. 13-57)を分担執筆。
10. 介護福祉思想研究会編『介護福祉思想の探求－介護の心のあり方を考える』ミネルヴァ書房, 2006年10月, 「介護福祉の経済思想－アダム・スミスを中心に」(pp. 220-234)を分担執筆。
11. 平井俊顕編著『市場社会とは何か』上智大学出版, 2007年5月, 「第2章 経済発展と不平等－ヒュームとスミス」(pp. 25-44)を分担執筆。
12. 新村聡編著『介護福祉のための経済学』弘文堂, 2008年10月, 「第1章 経済とは何か, 福祉とは何か」(pp. 56-68), 「第7章 福祉は景気をよくするか」(pp. 141-155), 「第8章 福祉は成長にマイナスか」(pp. 156-171)を分担執筆。
13. 小峯敦編著『経済思想のなかの貧困・福祉－近現代の日英における「経世済民」論』ミネルヴァ書房, 2011年3月, 「第1章 アダム・スミスにおける貧困と福祉の思想」(pp. 34-63)を分担執筆。
14. 佐々木武・田中秀夫編著『啓蒙と社会－文明観の変容』京都大学学術出版会, 2011年3月, 「第10章 D.ヒュームとA.スミスの社会契約論批判と統治原理論」(pp. 241-270)を分担執筆。
15. 服部正治・竹本洋編著『回想 小林昇』日本経済評論社, 2011年12月, 「アダム・スミスの農工分業論と賃金論における有効需要の問題－小林昇説への問題提起－」(pp. 34-51)を分担執筆。
16. 中村浩爾編著『アダム・スミス「法学講義Aノート」Police編を読む』文理閣, 2012年1月, 「アダム・スミス『法学講義』行政論の主題と構成」(pp. 3-18)を分担執筆。
17. 経済学史学会編『古典で読み解く経済思想史』ミネルヴァ書房, 2012年5月, 「労働と賃金－アダム・スミスの分業論と高賃金の経済論」(pp. 197-217)を分担執筆。
18. 許崇正・大西広編著『人間発達経済学新進展』, 北京: 中国经济出版社, 2012年12月, 「分工与人的発展 [分業と人間発達]」(pp. 66-73)を分担執筆 (中国語訳)。
19. 田上孝一編著『権利の哲学入門』社会評論社, 2017年2月, 「第4章 ホッブズの権利論」(pp. 56-70)を分担執筆。

Ⅲ 論文

1. 「同感概念の発展－ヒュームからスミスへ－」『東京大学経済学研究』(23), 1980年12月。
2. 「アダム・スミスにおける道徳と法と経済」『思想』(679), pp. 38-59, 1981年1月。
3. 「正義論におけるヒュームとスミス」『イギリス哲学研究』(4), 1981年3月。
4. 「初期労働価値論と〈不変の価値尺度〉問題－ウィリアム・ペティとフランクリン－」『岡山大学経済学会雑誌』17 (3・4), pp. 771-790, 1986年2月。
5. 「リカードのスミス価値論批判」『岡山大学経済学会雑誌』19 (1), pp. 75-101, 1987年5月。
6. 「経済学の第1章－アダム・スミス『諸国民の富』」『経済セミナー』(388), 1987年5月。
7. 「アダム・スミスの初期正義論－『アンダソン・ノート』の検討－」『岡山大学経済学会雑誌』19 (3・

- 4), pp. 853-873, 1988年1月。
8. 「スミス価値論とリカード, マルクス」, 関東学院大学『経済系』(155), pp. 42-55, 1988年4月。
 9. 「貨幣起源論の系譜－アリストテレスからスミスまで－」『岡山大学経済学会雑誌』25 (3), pp. 257-278, 1994年1月。
 10. 「アダム・スミスから何を学ぶか－市場社会の前提としての人間と国家－」『日本経済研究センター会報』(718), pp. 40-45, 1994年12月。
 11. 「戦後日本の社会科学と市民社会論」『経済科学通信』(80), pp. 2-11, 1996年2月。
 12. 「アダム・スミスにおける公正と効率」『岡山大学経済学会雑誌』30 (3), pp. 183-196, 1999年3月。
 13. 「アダム・スミスと近代自然法学再考－拙著『経済学の成立』への疑問と批判に答える－」『岡山大学経済学会雑誌』30 (4), pp. 461-487, 1999年3月。
 14. 「スミスのステュアート信用論批判」『岡山大学経済学会雑誌』32 (4), pp. 161-174, 2001年3月。
 15. 「金融システム安定化の古典理論－アダム・スミス銀行論の成立過程－」『岡山大学産業経営研究会研究報告書』(37), pp. 1-25, 2002年5月。
 16. 「アダム・スミスにおけるケインズの問題－総需要不足と金融不安定性をめぐって－」『岡山大学経済学会雑誌』35 (2), pp. 27-35, 2003年9月。
 17. 「平等と不平等の経済学－新自由主義的〈平等〉と福祉国家的〈平等〉の対立－」『季刊 経済理論』43(1), pp. 26-35, 2006年4月。
 18. 「古典的金融恐慌とアダム・スミスにおける市場観の転換」『経済理論学会第57回大会報告集』, 2009年11月。
 19. 「アダム・スミスと金融恐慌－金融規制政策と所得再分配政策を中心に－」『経済科学通信』(122), pp. 21-26, 2010年4月。
 20. 「アダム・スミスの社会的自由主義」『経済科学通信』(127), pp. 62-67, 2012年9月。
 21. 林祥瑜と共著「中国における日本語教育と経済格差－南京市4大学の比較調査から－」『北東アジア経済研究』(10), pp. 31-40, 2013年3月。
 22. 「ホブズ『リヴァリアサン』の第2自然法は何を意味するのか」『岡山大学経済学会雑誌』47 (2), pp. 81-93, 2016年2月。
 23. 「アダム・スミスの平等論と分配的正義論」『立教経済学研究』69 (4), pp. 49-67, 2016年2月。
 24. 「ホブズにおける近代的平等論の成立」『岡山大学経済学会雑誌』47 (3), pp. 47-63, 2016年3月。
 25. 「プラトン平等論の発展－『国家』から『法律』へ－」『岡山大学経済学会雑誌』48 (1), pp. 1-13, 2016年7月。
 26. “Adam Smith: egalitarian or anti-egalitarian? His Responses to Rousseau and Hume’s Critiques of Inequality”, *International Journal of Social Economics*, 43 (9), pp. 888-903, 2016.
 27. 「アダム・スミスの大きな政府論の形成過程に関する一考察－『法学講義』から『国富論』への租税論の発展－」『岡山大学経済学会雑誌』49 (2), pp. 1-15, 2018年2月刊行予定。

IV ディスカッション・ペーパー

1. “Adam Smith: Egalitarian or Anti-Egalitarian? His Responses to Hume and Rousseau’s Critiques of Inequality”, The Economic Association of Okayama University, Discussion Paper Series, No. I-91, May 2015.
2. 「グロチウスとホブズの権利論」, 『岡山大学経済学会ディスカッション・ペーパー』No. II-80, 2016年9月。

V 辞典項目

1. 「古典派経済学」, 『マルクス・カテゴリー事典』 青木書店, 1998年3月。
2. 「同感の原理」, 『経済思想史辞典』 丸善, 2000年7月。
3. 「正義」「マルクス」, 『イギリス哲学・思想辞典』 研究社, 2007年10月。
4. 「共感」「ケインズ」「産業革命」「市場経済」「重農主義」「使用価値」「剰余価値」「人口論」「スミス」「道徳哲学」「ホモ・エコノミクス」「リカード」「レッセ・フェール」「労働価値説」, 『哲学中辞典』 知泉書館, 2016年11月。
5. 「アダム・スミス」「自然法学」, 『社会思想史事典』 丸善, 近刊。

VI 書評

1. 田中敏弘『イギリス経済思想史研究』, 『土地制度史学』 28 (2), pp. 59-61, 1986年1月。
2. 舟橋喜恵『ヒュームと人間の科学』, 『思想と現代』 (5), 1986年5月。
3. 田中正司『アダム・スミスの自然法学』, 『思想』 (784), 1989年10月。
4. 野沢敏治『社会形成と諸国民の富』, 『千葉大学経済研究』 7 (1), 1992年6月。
5. 有江大介『労働と正義』, 『土地制度史学』 137, 1992年10月。
6. 田中正司『アダム・スミスの倫理学』, 『読書人』 1998年4月。
7. 星野彰男『アダム・スミスの経済思想－付加価値論と「見えざる手」』 関東学院大学出版会, 2002年刊, 『経済学史学会年報』 (43), pp. 110-111, 2003年。
8. Leonidas Montes, *Adam Smith in Context: A Critical Reassessment of Some Central Components of His Thought*, London: Palgrave Macmillan, 2003. 『経済学史研究』 48 (1), pp. 175-176, 2006年6月。
9. 星野彰男『アダム・スミスの経済理論』 関東学院大学出版会, 2010年刊, 『経済学史研究』 53 (2), pp. 128-129, 2012年1月。
10. ダンカン・K・フォーリー『アダム・スミスの誤謬－経済神学への手引き』 ナカニシヤ書店, 2011年刊, 『季刊経済理論』 49 (3), pp. 101-103, 2012年10月。
11. アダム・スミス『法学講義 1862-63』 名古屋大学出版会, 2012年刊, 『イギリス哲学研究』 (36), pp. 90-91, 2013年。

VII 学会報告

1. 「アダム・スミスにおける同感概念の構造」, 経済学史学会第43回大会, 1979年11月。
2. 「道徳論におけるヒュームとスミス」, 日本イギリス哲学会第4回大会, 1980年3月。
3. 「イギリス道徳哲学と経済学」, 日本18世紀学会第4回大会, 1982年6月。
4. 「スミス価値論の成立過程」, 経済学史学会第49回大会, 1985年11月。
5. 「アダム・スミスにおける道徳と経済」, 日本イギリス哲学会第10回大会, 1986年3月。
6. 「アダム・スミスにおける市場・制度・国家」, 経済学史学会関西西部会, 1991年11月。
7. 「アダム・スミスの社会契約説批判」, アダム・スミスの会, 1991年。
8. 「アダム・スミスにおける経済学の成立」, 経済学史学会第57回大会, 1993年11月。
9. 「近代自然法学における権利と効用」, イギリス哲学会第18回大会, 1994年3月。
10. 「分業・協働・所有」, 経済学史学会第58回大会, 1994年10月。
11. 「『経済学の成立』をめぐって」, 経済学史学会西南部会, 1994年11月。
12. 「アダム・スミスから何を学ぶか－市場社会の前提としての人間と国家－」, 日本経済研究センター,

1994年11月。

13. “Hume and Smith on Sympathy”, The 24th Hume Society Conference, July, 1997.
14. 「アダム・スミスにおける公正と効率」, 経済学史学会第61回大会, 1997年11月。
15. 「スミスのステュアート信用論批判」, 経済学史学会第64回大会, 2000年11月。
16. 「アダム・スミスにおける市場・政府・モラルー総需要不足と金融不安定性をめぐってー」, 経済学史学会第66回大会共通論題報告, 2002年10月。
17. 「ヒュームとスミスにおける経済発展と不平等」, 経済学史学会第69回大会 (大阪, 大阪産業大学), 2005年5月29日。
18. “Inequality and Economic Development in Adam Smith”, Annual Conference of History of Economics Society, (USA, Tacoma), 26 July 2005.
19. 「平等と不平等の経済学ー新自由主義的〈平等〉と福祉国家的〈平等〉の対立ー」, 経済理論学会第53回大会共通論題報告 (東京, 大東文化大学), 2005年10月16日。
20. 「マルクスとセンの不平等論」, 経済学史学会第70回大会 (横浜, 神奈川大学), 2006年5月27日。
21. 「マルクスの不平等批判の方法」, 経済理論学会第54回大会 (名古屋, 愛知大学), 2006年10月21日。
22. 「K. マルクスとA. センの不平等論と人間発達論」, 「人間発達の経済学」国際研究討論集会 (中国南京, 南京師範大学), 2007年3月22日。
23. 「人間発達と自由・平等との関連について」, 基礎経済科学研究所第30回研究大会 (京都, 京都大学), 2007年9月23日。
24. 「アダム・スミスにおける貧困と福祉の経済思想」, 経済学史学会第72回大会共通論題報告 (松山, 愛媛大学), 2008年5月25日。
25. 「アダム・スミスの近代自然法学批判と経済学の成立」, 日本イギリス哲学会第33回大会シンポジウム報告 (宮崎, 宮崎大学), 2009年3月27日。
26. 「アダム・スミスの共感論と公平な観察者論」, 経済学史学会第73回大会 (東京, 慶応大学), 2009年5月30日。
27. 「D. ヒュームとA. スミスの社会契約説批判」, ヒューム研究学会第20回大会 (東京, 日本大学), 2009年9月7日。
28. 「古典的金融恐慌とアダム・スミスにおける市場観の転換」, 経済理論学会第57回大会 (東京, 東京大学), 2009年11月21日。
29. 「分業は人間発達にどのような影響を与えるかーA. スミスとK. マルクスの見解の比較ー」, 人間発達の経済学日中会議 (京都, 京都大学), 2010年12月11日。
30. 「分業と人間発達」, 人間発達経済学国際会議 (北京, 中国政法大学), 2011年4月24日 (大会23-24日)。
31. 「アダム・スミスの社会的自由主義ー金融規制政策と所得再分配政策を中心にー」, 経済学史学会第76回大会共通論題報告 (小樽, 小樽商科大), 2012年5月27日 (大会26-27日)。
32. “Adam Smith’s Two Views on the Relationship between Economic Development and Equality”. 人間発達の経済学日中会議札幌集会 (札幌, 札幌学院大学 [28日], 北海道教育大学 [29日]), 2012年9月29日 (大会28-29日)。
33. 「トマス・ホブズにおける近代的平等論の成立」, ヒューム研究学会第23回大会 (京都, キャンパスプラザ), 2012年9月7日 (大会6-7日)。
34. 「トマス・ホブズにおける近代的平等論の成立ーアリストテレス批判から黄金律へー」, 社会思想史学会第37回大会 (東京, 一橋大学), 2012年10月28日 (大会27-28日)。